

1. 人権が尊重され、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
2. 良好な環境が整った、快適で安全・安心なまちづくり
3. 活力ある産業に満ちた、にぎわいあふれるまちづくり
4. 明日の彦根市を担う人を育(はぐく)むまちづくり
5. 人とひととの交流をひろげ、市民文化を創造するまちづくり

難局を乗り越えて、地域の活性化を目指す

特集

彦根市の 平成21年度予算

平成21年度の一般会計の予算規模は、昨年度の当初予算と比べて、4.3%の増加となりました。

歳入では、アメリカのサブプライムローン問題に端を発した百年に一度と言われる世界的な経済危機のため、景気の後退や雇用情勢の悪化が急速に進んでおり、個人市民税・法人市民税ともに大幅な減額になると見込んでいます。

ただ、国からの支援に関しては、地方税の減少を反映した地方交付税の増額などにより、増加の見込みです。また、実質公債費比率が18.0%を上回っていることから、市債の発行を出来る限り抑制し、公債費負担の適正化に努めました。

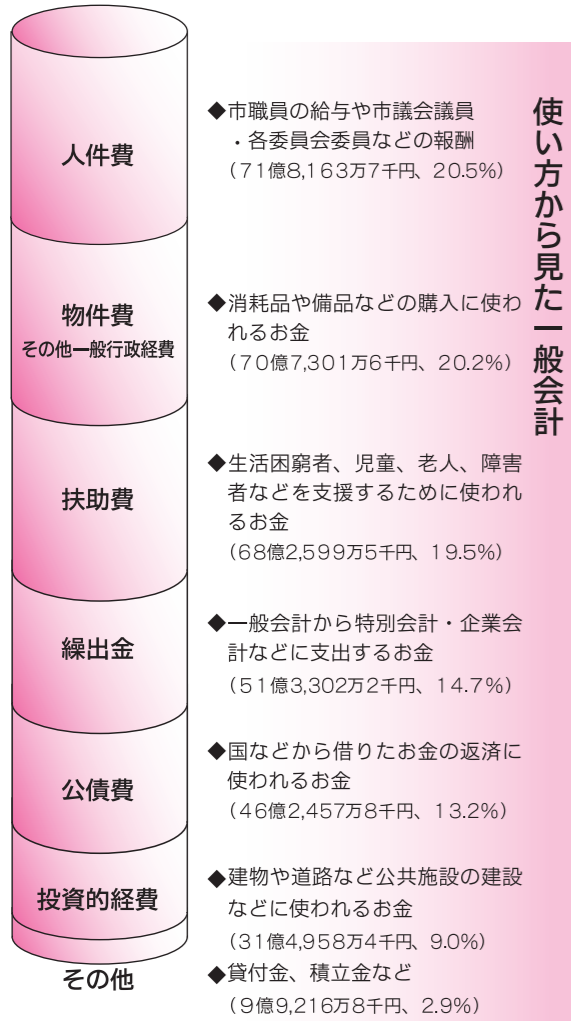
歳出では、緊急経済・雇用対策として、地域経済の活性化や雇用不安の解消を図る事業を積極的に取り入れたほか、歴史まちづくり法関連事業に取り組みなど新しい事業を盛り込んだ一方で、経常経費では、職員の退職補充を必要最小限に留めるなど人件費の抑制に努めました。

この特集では、平成21年度予算の概要と主な事業を紹介します。

問い合わせ先 財政局課 30-6107
番 FAX 22-13998番

予算総額 704億5,647万3千円 (前年度に比べて1.4%増加)

一般会計	349億8,000万円	(前年度に比べて4.3%増加)
特別会計	214億3,961万3千円	(前年度に比べて3.9%減少)
企業会計	140億3,686万円	(前年度に比べて3.1%増加)



特別会計

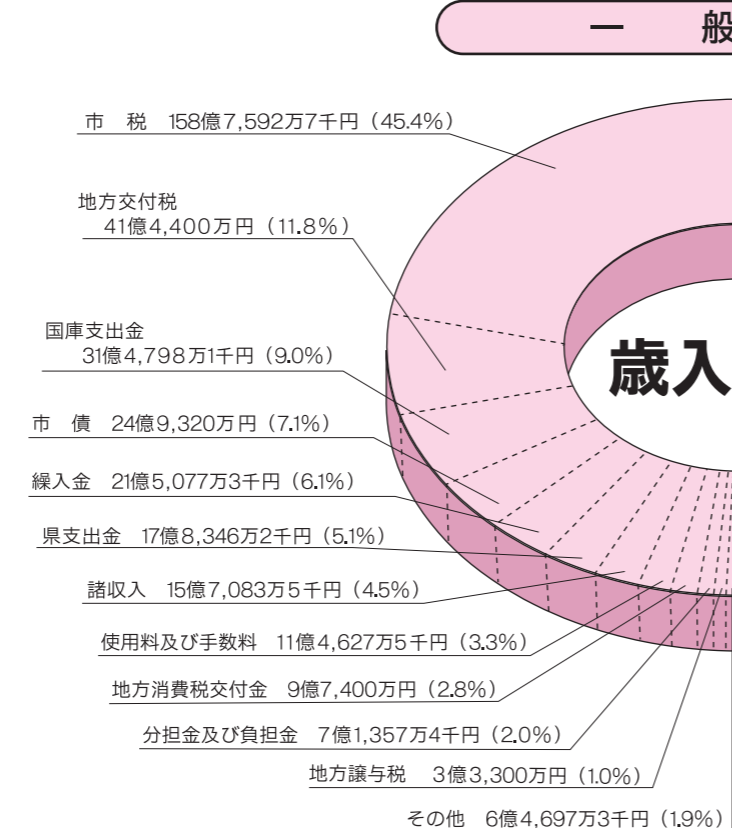
会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険事業	88億6,625万9千円	-3.3%
住宅新築ならびに改修資金貸付事業	851万5千円	-60.0%
下水道事業	58億4,888万円	-0.5%
休日急病診療所事業	5,667万9千円	+16.1%
老人保健事業	2,699万9千円	-96.4%
農業集落排水事業	2億9,461万8千円	+4.1%
介護保険事業	54億869万9千円	+2.7%
後期高齢者医療事業	9億2,896万4千円	+2.9%

企業会計

会計名	予算額	対前年度比
病院事業	103億9,713万1千円	+0.4%
水道事業	36億3,972万9千円	+11.7%

用語の説明 (歳入)

- 市税 皆さんから市に納めていただく税金
- 地方交付税 所得税など国が徴収した税金の中から、市の財政状況に応じて国から交付されるお金
- 国庫支出金・県支出金 特定の目的の財源として国・県から交付されるお金(補助金など)
- 市債 大きな事業を行うために国などから借り入れるお金
- 《平成21年度末残高見込額333億7,966万3千円》
- 繰入金 特定の目的のために積み立てているお金を取り崩して使うお金
- 諸収入 他の収入科目に含まれない収入(消防の受託事業収入など)
- 使用料及び手数料 施設の使用時や住民票などの証明書の交付時などに皆さんが納めるお金
- 地方消費税交付金 国が徴収した消費税の一部から市へ交付されるお金
- 分担金及び負担金 市が行う事業によって特に利益を受ける人や団体が納めるお金
- 地方譲与税 国が国税として徴収した税金のうち、地方に配分されるお金



用語の説明 (歳出)

- 民生費 福祉や医療の充実などのために使われるお金
- 土木費 道路や橋、公園などの施設整備に使われるお金
- 公債費 大きな事業を行うために国などから借りたお金の返済に使われるお金
- 総務費 市税、選挙、戸籍の事務や、市政の推進を図る計画を作るために使われるお金
- 教育費 小・中学校などの教育や文化、スポーツの振興のために使われるお金
- 衛生費 健康診断や予防接種、ごみの収集・処理などに使われるお金
- 消防費 市民の安全を守るため、消防や防災対策に使われるお金
- 商工費 商工業や観光の振興のために使われるお金
- 農林水産業費 農林水産業の振興のために使われるお金
- 議会費 市議会を運営するために使われるお金
- 労働費 働く人たちの福祉などのために使われるお金
- 予備費 緊急の支出などに備えるお金

